

特定非営利活動法人

21世紀大学経営協会

人事報酬制度委員会 人事給与制度改革ワーキンググループ

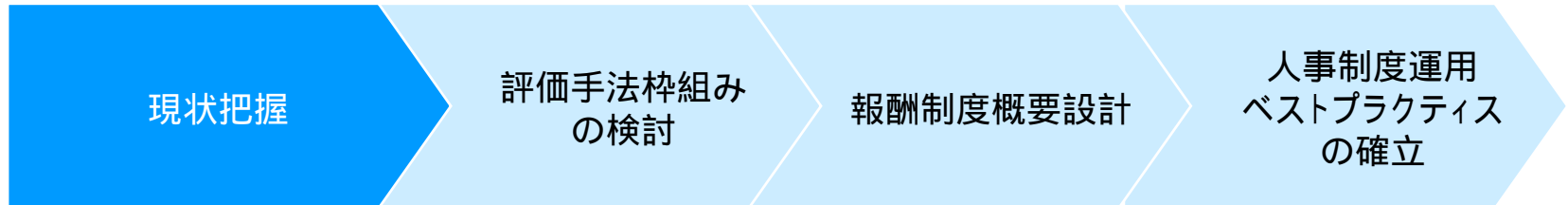
2005年度活動計画案

2005年5月

人事給与制度改革ワーキンググループ 活動の方向性

- 2004年度の人事給与制度改革ワーキンググループ内における検討結果に基づき、同ワーキンググループは今後以下の活動に取り組む
 - 現行の人事制度の把握(インタビューおよびサーベイの実施)
 - 人事評価手法の検討
 - 同評価制度に沿ったあるべき報酬制度の概要設計
 - 人事制度運用に関するベストプラクティスの確立
- 各フェーズの詳細設計(作業内容・期間・コスト等)は今後の検討課題とする

人事給与制度改革ワーキンググループの活動方向性



- インタビューおよびサーベイを通じた現状の人事制度の把握、改善すべき点の絞り込み
- 現行報酬水準を把握、次フェーズ以降の検討資料作成
- 大学教員に求められるコンピテンシー(行動特性)を把握
- 研究・学内行政・教育等各領域における評価指標の選定
- 前フェーズで策定された評価手法に沿った報酬制度の概要を設計
- 報酬水準の合理性・妥当性の検証
- 採用・評価・報酬(含福利厚生)制度運用における好事例を収集し、大学間で共有

人事給与制度改革ワーキンググループ 2005年度の活動予定

- 長期的な活動の方向性に沿い、2005年度の人事給与制度改革ワーキンググループとして、以下の活動に取り組む
 - 大学教員の評価・報酬制度構築上の課題把握
 - ー 事前調査
 - ー ワーキンググループ内での検討
 - ー 複数大学を対象としたインタビューの実施
 - ー インタビュー結果を基に課題を整理、仮説設定
 - ー 事前調査結果をワーキンググループで検討
 - ー 本調査(アンケート)実施
 - ー 大学教員の評価・報酬に関する定量的データ収集を目的としたアンケート調査の設計、実施
 - ー アンケート調査結果の分析と課題の抽出
 - 調査結果のフィードバック
 - ー 報告会の開催
 - ー 本調査結果を踏まえ、大学教員対象の評価・報酬のあり方をワーキンググループにて検討
 - ー 報告会を開催し、調査結果を公表
 - ー 報告書作成
 - ー 調査結果およびワーキンググループ内の議論を踏まえ、報告書を作成

2005年度活動スケジュール案

5月下旬～6月

7～10月

2006年2月

2006年3月

現行の人事制度把握
事前調査

本調査(アンケート)

報告会開催

報告書作成